

令和6年 第1回 大仙市議会定例会

# 施政方針演説

令和6年2月22日

大仙市長 老松博行

令和6年第1回大仙市議会定例会にあたり、令和6年度の市政運営の基本方針と施策の概要について申し述べます。

## 1 はじめに

はじめに、元日に発生した能登半島地震において、お亡くなりになられた皆様のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。

このたびの地震では、新しい年の家族団らんの場合が一瞬で奪われ、多くの命が失われたほか、今なお、避難生活を余儀なくされ、大変な思いをされている方も多くおられます。豊かな恵みをもたらす反面、時として非情な天災をもたらす自然の脅威を改めて思い知らされるとともに、時と場所を選ばず突然発生する災害への備えの重要性を強く実感したところではありますが、一方で、こうした厳しい状況の中にあっても、避難されている皆様が、互いを気遣い、支え合っている姿に、絆の力、共助の重要性を再認識させられたところでもあります。

市では、一般社団法人助けあいジャパンと連携し、1月12日に被災地へトイレトレーラーを派遣したほか、2月12日からは、日本水道協会の要請を受け給水車を派遣しており、当番制で応急給水活動に当たっております。今後、支援のフェーズは段階的に変わっていきませんが、全国の自治体と連携し、被災者の皆様に寄り添いながら、できる限りの

支援と最大限の役割を果たしてまいりたいと考えております。

今般の震災を受け、本市において大規模な地震が発生した際の対策や対応を再点検するよう関係各課に指示したほか、2月27日には、北関東を中心にコンテナホテルを展開する株式会社デベロップとの間で、災害時の宿泊施設提供を目的とする協定を締結することとしております。また、奇しくも1月23日には、冬季における大規模地震の発生を想定し、10回目となるシェイクアウト訓練を実施しており、市民の皆様には、これまで以上に緊張感をもって参加いただけたものと考えております。今後も「大仙市地域防災計画」や「大仙市国土強靱化地域計画」に基づき、防災・減災対策を総合的かつ計画的に進めるとともに、災害を想定したこうした機会を定期的に創出し、防災意識の向上を図りながら、自主防災組織を中心とした地域の防災力を高め、災害に強いまちづくりを一層進めてまいります。

さて、令和5年を振り返りますと、感染症法上の分類見直しにより、3年余り続いた新型コロナウイルスとの闘いに大きな区切りを迎えた年となりました。人々の往来が回復するとともに、社会経済活動が活発化する中で、近年にない絶好の条件のもと、盛大に開催された第95回全国花火競技大会「大曲の花火」や、中仙地域出身で、マラソン選手の鈴木優花さんのパリオリンピックへの出場内定、日本将棋界を代表する

藤井聡太竜王をお招きしての祝賀会の開催、待望の「ふれあいスポーツランド ソラーレ」のオープンなど、本市が大いに盛り上がり、まさに再スタートにふさわしい年であったと思っております。一方で、大雨や記録的な猛暑に加え、過去最多となったクマの出没など、地球温暖化の影響と思われる心配な出来事も多く見られた年でもありました。

今年の干支である「<sup>きのえたつ</sup>甲辰」は、成長や発展の年と言われており、<sup>じっかん</sup>十干の一番目である<sup>きのえ</sup>甲は、新たな10年の始まりの年であります。社会経済環境の変化は著しく、そのスピードは加速しており、加えて喫緊の課題である少子化対策をはじめ、長引く物価高騰や激甚化・頻発化する災害への対応など、多くの課題が山積しておりますが、「雲外蒼天」、困難を乗り越えた先には、必ずや明るい未来があると信じ、大空へ駆け上がる龍のように、大仙市のさらなる飛躍、発展に向け、誠心誠意、全力で市政運営にあたってまいります。

## 2 重点施策について

次に、令和6年度における重点施策について、「第2期大仙市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の体系に基づいて申し上げます。

### (1) 新時代に向けた農業振興策の強化

はじめに、新時代に向けた農業振興策の強化についてであります。

世界的な人口増加などを背景に食料需要が増加する一方で、国際情勢の悪化や、常態化が懸念される異常気象などにより高まる食料安全保障上のリスクに加え、人口減少に伴う国内需要の縮小や担い手不足など、顕在化する諸課題の克服に向け、1999年以来となる「食料・農業・農村基本法」の改正が進められており、我が国の農業政策は大きな転換期を迎えております。

この転換期を、成長産業への転換に向けたチャンスと捉え、本市農業の指針となる「第4次大仙市農業振興計画」のもと、全国有数の米どころであり、県内随一の大豆生産地である強みを活かしながら、稲作を基盤に畑作・園芸との複合経営や6次産業化などを一層促進し、持続可能なだいせん農業の確立に向けて取組を進めてまいります。

稲作につきましては、効率的で安定的な経営に向けて農地の集約化や集積化を図るとともに、引き続き需要に応じた生産や特色ある米づくりの促進とブランド化などに取り組んでまいります。また、大豆の高品質化・収量確保に向けた取組や、枝豆・花き等園芸作物の生産振興に係る機械導入等を支援し、特色ある作物の産地化を進めてまいります。

## **(2) 地元企業の振興と企業誘致の強化**

次に、地元企業の振興と企業誘致の強化についてであります。

地域の経済や雇用を支え、本市発展の原動力となっている産業のさら

なる振興に向け、事業拡大や新たな事業分野への進出をはじめとした地元企業のチャレンジ、起業・創業を幅広く応援するとともに、女性活躍の推進や男性の育児休暇取得の促進、SDGsやDX、GXへの対応など、企業の魅力や競争力の向上につながる取組を後押ししてまいります。また、深刻さを増す人手不足の解消に向け、合併時から続く雇用助成金の見直しを進めるとともに、適正な価格転嫁や賃金の引き上げに踏み出すことができるよう、支援策を検討してまいります。

企業誘致の強化につきましては、大曲企業団地の第2期造成事業が、今年11月の完成に向け順調に進捗しているところであり、企業の設備投資意欲が高まっているこの機を捉え、本市の充実した支援制度、雇用の優位性などを首都圏等の企業に広くPRしながら、積極的な誘致活動に努めてまいります。また、新たな企業誘致対策として、情報関連産業をはじめとした若者にとって魅力のある多様な企業の進出を促進するため、サテライトオフィスの誘致に向けた取組を進めてまいります。

### **(3) 移住定住の促進と若者がチャレンジできる環境づくり**

次に、移住定住の促進と若者がチャレンジできる環境づくりについてであります。

移住定住の促進につきましては、「第3期移住・定住促進アクションプラン」に基づき、引き続き「住宅取得支援等補助金」や「雪国暮らし

支援金」などによる支援を行うほか、コロナ禍で開催を控えていた対面イベントの充実を図ってまいります。また、課題となっている若年女性の移住・定住に向け、主に首都圏に在住する女性をターゲットに、市の魅力体験や先輩移住者との交流等を盛り込んだ新たなツアーを実施するほか、地域おこし協力隊を増員し、情報発信の強化や移住に向けたサポート体制の充実を図り、若者や女性、子育て世代を中心に、移住・定住を積極的に促進してまいります。

若者がチャレンジできる環境づくりにつきましては、その拠点となる「だいせんL a b o」のさらなるPRに努めるとともに、地域おこし協力隊の経験やスキルを活かし、相談体制の充実・強化を図りながら、様々な分野で挑戦する若者をサポートしてまいります。また、若者チャレンジ応援補助金による支援に加え、高校生や大学生、女性にフォーカスした取組を積極的に展開し、夢や希望に向かって活動する若者のエネルギーを推進力に、活力ある大仙市を創造してまいります。

#### **(4) 結婚・出産の希望をかなえ子育てしやすい環境づくり**

次に、結婚・出産の希望をかなえ、子育てしやすい環境づくりについてであります。

出会い・結婚支援につきましては、若者の出会いや結婚に対する意識、価値観が多様化する中、「あきた結婚支援センター」への入会支援に

加え、民間活力もお借りしながら、多種多様な出会いの機会を創出するとともに、「結婚新生活支援事業」による新婚生活の経済的負担軽減などを通じて、結婚の希望を持つ皆様を積極的に応援してまいります。

出産・子育て支援につきましては、重点施策の中でも特に重要な分野と位置付け、子育て世帯に寄り添った手厚い支援体系の構築に努めてきたところであり、昨年8月には、市の「こども条例」に掲げる理念と軌を一にする「こどもまんなか宣言」に賛同し、「こどもまんなか応援サポーター」への就任を宣言しております。

こうした取組をさらに加速・推進するため、新年度には、本市におけるこども・子育て政策の司令塔となる「こども未来部」を設置することとしております。今後、策定を進める大仙市版「こども計画」のもと、企画から実施に至るまで一貫性があり、年齢や進学による切れ目のない支援体系を構築するとともに、相談や支援等を一体的に提供する「こども家庭センター」のもとで、こどもに関するすべての相談を受け付け、一人一人の状況にあわせた適切な支援につなげてまいります。

その一環として、子育て世帯のニーズが高い「仕事と子育ての両立」をさらに後押しするため、市が独自に実施している保育料無償化制度の対象を0・1歳児に拡大するとともに、その受け皿となる保育施設の整備や保育士の確保、処遇改善、医療行為を必要とする園児の保育に係る看護師の配置を支援するなど、保育環境のさらなる充実を図る

ほか、放課後児童クラブの増設を進めてまいります。また、妊婦健康診査における超音波断層検査や、おたふくかぜの予防接種に対する助成制度を拡充するとともに、在宅で保育されている児童に対する支援の対象拡大や、食材費の高騰に伴う給食費の負担抑制などの経済的負担の軽減にも取り組んでまいります。

神岡中央公園エリアに計画している屋内遊び場施設につきましては、「子育てに優しいまち」を象徴する拠点として、季節や天候を問わず親子で遊べる場、多様な交流の場として何度でも足を運んでいただけるよう、子育て世帯のニーズを伺いながら整備を進めてまいります。

このほか、本格的にスタートする「こども未来戦略」の加速化プランに基づく制度も積極的に活用しつつ、こどもや子育て世帯の目線を各種施策に取り入れ、地域全体でこどもを育み、そして子育てを応援し、こどもの成長に喜びを感じながら、安心して子育てができる「こどもに寄り添い、子育てに優しいまち」づくりに取り組んでまいります。

#### **(5) とともに支え合い誰もが活躍できる地域づくり**

次に、ともに支え合い誰もが活躍できる地域づくりについてであります。

人生100年時代に突入した今、SDGsの目標の一つである「すべての人が健康と福祉を享受できる社会づくり」に取り組む意義は一層

高まっており、市民の皆様一人ひとりが健康で、地域の支え合いのもと、住み慣れた地域で安全・安心に暮らせる社会づくりを進めてまいります。

取組の柱となる「健幸まちづくりプロジェクト」につきましては、現在、約2万6千人の皆様から参加をいただいているほか、参加企業は380社を超えております。今後も健幸の輪がさらに広がるよう、ポイント事業やウォーキングなどの各種イベントの充実を図るとともに、蓄積されたデータを活用した健康プログラムの提供などにより、企業の皆様の健康経営に向けた取組を後押ししてまいります。

安全・安心に暮らせる社会の構築につきましては、「つながる・ささえる」ネットワーク会議のもと、事業の周知や各主体間の連携の強化、アウトリーチ支援の充実を図り、様々な困難を抱える方や制度の狭間にある声なき声を受け止め、重層的かつ包括的に支援してまいります。

## （6）地方創生への挑戦

次に、地方創生への挑戦についてであります。

地方創生の「第一の矢」として位置づける「大仙市花火産業構想」につきましては、現在、関係団体と策定を進めている「花火産業推進プロジェクト」のもと、令和10年に開催予定の第100回全国花火競技大会を見据えた、グローバルな花火産業基盤の確立を目指し、各種取組を推進してまいります。この7月には、大曲の花火実行委員会が、カナ

ダのモンテリオールで開催される国際花火競技大会に出場する予定となっており、その財源として、ガバメント・クラウド・ファンディングを通じ、全国の花火ファンの皆さんをはじめ、広く寄付を募ってまいりたいと考えております。また、市内の小学3年生及び6年生の希望する親子を対象に、「大曲の花火 秋の章」に招待する「花火ふるさと教育事業」を実施するほか、各種メディアを通じて「大曲の花火」の魅力を国内外に広く発信してまいります。

地方創生「第二の矢」である「農業と食に関する活性化基本構想」につきましては、この4月に市内全域で供用を開始するRTK基地局を活用しながら、農作業の省力化や低コスト化、高収量の確保に向けたスマート農業を一層推進してまいります。引き続き、秋田県と秋田県立大学との連携による「秋田版スマート農業モデル創出事業」や、クボタグループとの連携協定に基づく実証事業を進めるほか、自動操舵付き農業機械や農業用ドローンをはじめとしたスマート農業機械の普及を促進してまいります。

また、同グループとの連携により、新規就農希望者や女性などを対象に農業機械講習会等を開催するほか、県や関係機関と連携を図りながら、新規就農者研修施設で研修する若手就農者への支援の充実を図り、次代の地域農業を担う人材の確保・育成に努めてまいります。

西仙北地域の農産物直売施設「大綱<sup>つな</sup>の里」につきましては、新たに

菓子や惣菜の加工室を増設するほか、売り場の改装を行うこととしており、地域における6次産業化の拠点として機能強化を図ってまいります。

地方創生の「第三の矢」となる新たな活性化構想の中核を成す「大仙市文化財保存活用地域計画」につきましては、本市が誇る文化財や史跡などの保存と活用を総合的に行う計画として、引き続き国の認定を目指すとともに、観光分野と有機的に結び付けた歴史文化ツーリズムの企画や、地域の伝統文化の保存支援などを進め、貴重な文化財等の継承を図りながら、効果的に活用し、地域の活性化につなげてまいります。

#### (7) 新たな潮流への対応

こうした重点施策を着実に進め、持続可能なまちづくりを実現していくための土台となるSDGsやDX、GXなどへの取組も積極的に展開してまいります。

SDGsの推進につきましては、様々な機会や媒体を通じた情報発信の強化に加え、「SDGs取組宣言プロジェクト」を展開し、その理念のさらなる浸透と具体的な行動に向けた機運を醸成してまいります。また、「大仙市SDGs未来都市計画」が計画の最終年度を迎えることから、引き続き「Well-beingにあふれ 未来に向けて持続発展する 田園交流都市だいせん」の実現に向けた取組を着実に進めるとともに、次期計画の策定を進めてまいります。

D Xの推進につきましては、デジタル時代のパスポートとも表現されるマイナンバーカードの申請率が約90%となっており、普及から活用拡大のフェーズに移行しております。「大仙市行政サービス改革大綱」及び「大仙市D X推進ビジョン」のもと、マイナンバーカードを積極的に活用しながら「来庁者にやさしい市役所」「行かなくて済む市役所」の実現を目指すとともに、デジタルに不慣れな方へのサポートや、デジタル化によって生まれた時間を窓口サービスの充実につなげるなど、「誰一人取り残されない人に優しいデジタル化」を進めてまいります。

デジタル技術を活用した窓口改革として、新たなシステムを導入し、書類の記入が最小限で済む「簡単な窓口」への転換を進めるほか、スポーツ施設を対象に構築を進めているオンライン予約システムについて、対象となる公共施設を拡大してまいります。また、より簡単で迅速に行政サービスを利用できるよう、公式L I N Eアカウントからの申請や届け出が可能となる新たな機能の導入も進めてまいります。

G Xにつきましては、「ゼロカーボンシティだいせん」の実現に向けた具体的な行動指針として策定を進めている「大仙市地球温暖化対策実行計画 区域施策編」のもと、市民や事業者の皆様、行政が一体となり、全市をあげて実効性のある取組を進めてまいります。

計画の策定に先駆けて実施している住宅への太陽光発電設備の導入やE V車の購入などに対する支援に加え、公共施設の省エネ化や太陽光

発電設備の導入、道の駅などへのEV充電設備の設置を進めるほか、再生可能エネルギー発電設備を導入する民間事業者への支援、ZEH<sup>ゼッチ</sup>※住宅の普及促進など、本市の地勢や地域の実情に応じた取組の実施を検討してまいります。また、2月16日に、株式会社秋田銀行と丸紅株式会社との間で、森林由来のJ-クレジットの創出と販売に関する協定を締結したところであり、森林資源の循環利用を促進することで、温室効果ガスの森林吸収量の確保・強化につなげてまいります。

さらに、プラスチック資源の循環利用体制を構築するため、県及び大曲仙北広域市町村圏組合と連携し、大曲地域を対象に実証試験を行った家庭系廃棄物のプラスチック分別収集について、多くの市民の皆様から前向きな声をいただいたことから、令和7年度の本格実施に向け、市内全域にエリアを拡大し、実証を重ねることとしております。

### 3 令和6年度当初予算（案）の概要について

次に、令和6年度当初予算（案）の概要について申し上げます。

当初予算につきましては、コロナ禍から社会経済活動が正常化しつつある中、物価高騰が市民生活や行政運営に与える影響を考慮し、「変化する社会情勢に対応した施策の実施、市民満足度の向上」と「10年先を見据えた持続可能な行財政の構造改革」の2点を基本方針に掲げ、予算の編成にあたってまいりました。

※ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）…住宅で使用する電力を発電したエネルギーでまかなえる住宅

エネルギー価格の高止まりや社会基盤の更新、脱炭素やデジタル社会の実現に向けた新たな行政需要への対応などから、財政調整基金に頼らざるを得ない厳しい編成となりましたが、こども・子育て施策やDX、GXなど、未来への積極的な投資を重点に「地方創生へのチャレンジ」や「企業誘致の強化と地元企業の振興」、「新時代に向けた農業振興策の強化」などの6つの重点施策には優先的、かつ積極的に配分したところであり、前年度比14億1,600万円増となる144億5,800万円を計上しております。

その結果、一般会計につきましては、前年度に比べ3.8%増の464億780万円となっており、平成25年度、26年度に次ぐ過去3番目の規模となる未来を志向した積極型の予算となっております。

その他の会計の予算総額につきましては、14特別会計で114億2,003万円、4企業会計で97億5,091万円となっております。

また、財政調整基金につきましては、不足する一般財源を補うため、8億3,000万円を取り崩しておりますが、令和5年度の財政運営において可能な限り積み増しを行い、年度末に45億円程度の残高を確保できるよう努めてまいります。

3年間にわたるコロナ禍を経て、賃金の上昇や企業の設備投資意欲の高まりなど、経済の持続的な成長が期待される一方で、不安定な世界情勢を背景に先行きは依然として不透明であり、社会保障をはじめとし

た義務的経費の増加や待ったなしの少子化対策、インフラの更新、学校施設の再編をはじめとした公共施設の統廃合などによる歳出の増大が見込まれており、今後も厳しい状況が続くものと考えております。こうした見通しのもと、既存事業の効果検証に基づくより踏み込んだ事業の選択と集中や、公共施設等総合管理計画に基づく施設の統廃合を着実に進めるなど、将来にわたり憂いのない行財政運営に努めてまいります。

#### 4 令和6年度の主な施策の概要について

次に、令和6年度の主な施策の概要について、総合計画の体系に基づいて申し上げます。

##### (1) 魅力のある産業のまちを創ります

はじめに、産業振興・雇用などについてであります。

##### (農林水産業の振興)

農業生産基盤の整備につきましては、新たに農地中間管理機構関連ほ場整備事業として採択予定となっている仙北地域「戸地谷北部地区」をはじめ、12地区で実施される県営ほ場整備事業を進めてまいります。

畜産振興につきましては、「大仙市畜産振興プラン」のもと、繁殖牛の増頭に係る支援を継続するとともに、県やJA、畜産関係団体、地域の若手畜産農家などと連携を図りながら、3年後に北海道で開催される

「第13回全国和牛能力共進会」特別区への出品を目指す、大曲農業高等学校の挑戦を支援してまいります。

林業振興につきましては、伐期を迎えた市有林材の活用と再造林を推進するため、令和7年度にかけて資源量調査を実施するほか、県や林業経営体と連携し、ICT技術を活用したスマート林業の導入に向けた検討を進めるとともに、私有林の再造林や下刈りに対するかさ上げ補助などにより、森林の循環利用を促進してまいります。

水産振興につきましては、歴史ある鮭漁文化の継承と、持続可能な水産資源の確保を目的に進めている市営サケふ化場の移転改築について、地下水調査の結果を受け、関係者で構成する検討委員会を設置し、整備内容を具体化する基本計画の策定を進めてまいります。

#### **（観光の振興）**

観光の振興につきましては、「第3次大仙市観光振興計画」のもと、国内外からの人流回復の機を捉え、首都圏でのプロモーションの強化やインバウンド観光の推進に取り組むとともに、「大仙市東部エリア観光ビジョン」に基づく取組を具体化するアクションプランの策定を進めてまいります。また、昨今の円安を契機に増加する地酒の海外輸出の拡大に向けた支援や、昨年の竜王戦「勝負めし」で盛り上がった「食」に関するPRなど、物産振興につながる取組を企画してまいります。さらに、建設から27年が経過する「道の駅かみおか」の再整備に向けた

検討を本格的にスタートするほか、令和7年のオープンに向け、中里温泉の改築事業を着実に進めてまいります。

## **(2) みんなの元気を応援します**

次に、子育て、健康・福祉などについてであります。

### **(保健・医療の充実)**

保健・医療の充実につきましては、自身の健康に関心を持ち、早期に生活習慣病の予防に取り組んでいただけるよう、20代と30代の健診内容を拡充するほか、50歳以上の方を対象に助成している帯状疱疹予防接種について、不活化ワクチンの助成額を引き上げるとともに、既に接種済みの方に対して追加助成を行うこととしております。

### **(高齢者福祉の充実)**

高齢者福祉の充実につきましては、リハビリ専門職等による通所型の運動機能向上支援の強化を図るなど、介護予防活動のさらなる促進を図るとともに、引き続き医療介護の連携強化や認知症対策の充実により、「地域包括ケアシステム」のさらなる深化を図ってまいります。

### **(スポーツの推進)**

スポーツの推進につきましては、令和6年度にスタートする「第4次大仙市スポーツ推進計画」のもと、全国・全県500歳野球大会の開催をはじめ、本市のスポーツ振興に向けた各種事業を着実に進めてまいり

ます。また、昨年オープンし、人気を博している多目的人工芝グラウンド「ふれあいスポーツランド ソラーレ」について、スポーツによる地方創生や市民の健康増進に資する拠点として、さらなる利用促進に取り組むとともに、官民連携のもと、スポーツ合宿の誘致強化や「奥羽太田ロードレース大会」の充実などによりスポーツツーリズムを推進し、交流人口の拡大と地域の活性化につなげてまいります。

### **(3) 住みよいまちを築きます**

次に、安全・安心体制の充実、都市整備などについてであります。

#### **(安全・安心体制の充実)**

安全・安心体制の充実につきましては、消防団員の活動環境の整備として、装備品や消防積載車の計画的な更新を進めるとともに、OB団員の再入団制度などに加え、新たにジュニア消防団を発足し、団員の確保につなげるほか、消防団音楽隊の活動を後押しするなど、団員の士気高揚と消防団活動の活性化につなげてまいります。

#### **(空き家対策)**

空き家対策につきましては、「空き家等解体補助金」のさらなる周知に努めるとともに、関係部局や福祉施設などと連携し、空き家の発生を未然に防止する取組を重点に、引き続き空き家の利活用、適正管理、解体の各段階に応じた総合的な対策を講じてまいります。

### **(市街地の整備)**

市街地の整備につきましては、これまで検討が進められてきた J R 大曲駅西口民有地の整備にあわせ、隣接する大曲駅前広場の一体的な整備の可能性を探るため、J R 東日本秋田支社と大曲商工会議所との連携のもと、勉強会を開催してまいります。

### **(道路河川等の整備)**

道路及び橋りょうの整備につきましては、計画的な道路改良や舗装補修等により交通インフラの維持強化を図るとともに、「大仙市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、橋りょうの維持管理に努めてまいります。

雄物川中流部の水害対策につきましては、南外地域物渡台地区の皆様の一日も早い安全を確保するため、防災集団移転促進事業を推進するとともに、無堤防・暫定堤防区間の解消や内水氾濫対策に対する支援など、さらなる水害対策の充実について、国に要望してまいります。

### **(上下水道の整備)**

上水道事業につきましては、老朽化した配水管の計画的な改良工事と橋りょう添架管、水管橋の長寿命化対策を進めるとともに、大曲地域内小友東部地区において区域拡張事業を進めてまいります。

簡易水道事業につきましては、刈和野地区簡易水道の老朽化対策と強靱化に加え、浄水場の効率化と維持管理費の縮減を図るため、神岡地域神宮寺地区と西仙北地域大野地区の統合事業を進めてまいります。

下水道事業につきましては、引き続き公共下水道の長寿命化対策事業を進めるほか、農業集落排水施設の老朽化対策や、将来人口を見据えた再構築事業を進めてまいります。

#### **（住環境の整備）**

住環境の整備につきましては、木造住宅の耐震診断や耐震改修に対する助成に加え、子育て世帯への支援に重点を置いた「住宅リフォーム支援事業」について、市外から移住し、購入した空き家をリフォームする世帯に対する支援を拡充することとしており、住環境のさらなる向上と子育て世代や市外からの移住・定住を促進してまいります。

#### **（４）豊かな心と創造力を育みます**

次に、教育、生涯学習、芸術・文化などについてであります。

#### **（学校教育の充実）**

学校教育の充実につきましては、県及び県内市町村と共同で「次世代統合型校務支援システム」を導入することとしており、業務の効率化や各種データ連携の充実を図ることで、教職員が児童生徒一人一人に向き合う時間を確保するとともに、教育の質の向上につなげてまいります。

#### **（生涯学習の推進）**

生涯学習の推進につきましては、市民が主役のまちづくり講座「大仙アカデミー」を引き続き開催し、各界で活躍されている皆様の講演を

通じて、市民の皆様一人一人がまちづくりの当事者であることを再認識し、地域の課題解決や活性化に向けて主体的に参画する機運を高めていただく有意義な機会としてまいります。

学校と地域の連携につきましては、少子高齢化の進行などにより学校と地域の課題が複雑化・多様化する中、地域学校協働活動とコミュニティ・スクールを一体的に推進し、地域社会に開かれた学校の実現と地域教育力の向上を図り、地域全体で未来を担うこどもたちの成長を支える環境づくりを進めてまいります。

#### **(芸術・文化の振興)**

芸術・文化の振興につきましては、「国指定史跡 払田柵跡」や「国指定名勝 旧池田氏庭園」をはじめとした文化財の適切な保存管理に努めるとともに、法隆寺での特別展示を機に全国的に注目度が高まっている鈴木空如筆「法隆寺金堂壁画」について、計画的な修復と積極的な公開活用を推進してまいります。また、「国登録有形文化財 旧本郷家住宅」を核とする「川のまち歴史交流の杜」の整備を引き続き進めるとともに、昨年「竜王戦」効果により県内外から来館者数が増加し、駐車場不足や交通安全の確保が課題となっていることを踏まえ、駐車場の確保にも取り組み、文化観光資源として積極的な活用を図ってまいります。

#### **(地域間交流・国際交流の推進)**

地域間交流につきましては、神奈川県座間市との友好交流都市協定

締結10周年を記念し、本市において記念演奏会を開催するほか、宮崎県宮崎市、岩手県宮古市と幅広い分野で交流事業を推進し、相互理解と相互発展につなげてまいります。国際交流につきましては、友好交流都市である韓国唐津市との文化交流に加え、台湾新北市との教育交流の実現に向けた協議を進めてまいります。

#### **(5) 時代に合った地域を創ります**

次に、地域社会の維持・活性化等についてであります。

##### **(男女共同参画の推進)**

男女共同参画の推進につきましては、「第3次大仙市男女共同参画プラン」が計画の最終年度を迎えることから、これまでの取組を検証するとともに、未婚女性が理想とするライフコースであり、市内の多くの子育て世帯が望む「仕事と家庭や子育ての両立」を促進する観点から、女性の声を伺いながら、地域や企業等のさらなる理解と行動の促進、女性自身の意識改革の両面からのアプローチを念頭に、次期計画の策定を進めてまいります。

## **5 むすびに**

結びに、来る令和6年度は、大仙市が誕生してから20年を迎える節目の年であります。この記念すべき節目を市民の皆様とお祝いし、

喜びを分かち合うとともに、これまでの歩みを振り返り、ふるさとへの誇りと愛着、そして地域の絆を深め、さらなる飛躍と発展に向けて新たな一步を踏み出す覚悟と決意の機会にしたいと考えております。

私たちは今、長引くロシアによるウクライナ侵攻、緊迫化する中東情勢などの不安定な世界情勢、これらを背景とした物価高騰など、合併当時には想像できなかった大きな変化に加え、コロナ禍も相まって急速に進行する少子化と加速する人口減少、SDGsやDX、GXなど社会的な要請とも言うべき多くの課題に直面しております。さらに、コロナ禍は人々の価値観や行動、働き方やライフスタイルなど、社会のあらゆる場面に変革をもたらしており、まさに歴史的な大変革期ともいうべき時代を迎えております。

明治維新という我が国の大きな変革の時代を精神的に支えた吉田松陰の言葉に、「夢なき者に成功なし」という名言がありますが、かつてないほど不確実性が高まる時代に、今を生きる私たちがなすべきことにも通ずるものであり、私たち一人ひとりが当事者として地域の将来を思い描きながら、変化を恐れず、自ら行動に移していくことが、受け継がれてきたふるさとの未来を切り拓き、そして次代に誇れる大仙市を創造する力になるものと考えております。

これまでの成果を礎に、さらなる進行が見込まれる少子高齢化、人口減少に伴い生ずる社会課題に的確に対応しつつ、コロナ禍で生まれた

変革も追い風に「**Daisen Transformation**（大仙市の変革）」を起動し、地域全体の持続可能性を高めながら「地域のすみずみまで元気なまち」そして「住み良さを実感し、将来に希望が持てるまち」を市民の皆様とともに創り上げてまいります。

以上、令和6年度における市政運営の基本方針と施策の概要について申し上げました。市民の皆様並びに議員各位からのより一層のご支援とご協力をお願い申し上げまして、令和6年度の施政方針といたします。

別添

令和6年第1回大仙市議会定例会

## 市政報告（諸般の報告）

令和6年2月22日

大 仙 市

## 目 次

### 【農林部】

- 1 大仙市農業元気賞について ..... 1
- 2 市内5蔵元による地酒統一ブランドについて ..... 1
- 3 スマート農業技術に関する研修会について ..... 1
- 4 鮭資源等確保活用事業について ..... 1

### 【経済産業部】

- 5 職場定着セミナーについて ..... 1
- 6 大曲・仙北地域就職面接会について ..... 1
- 7 仙北地域企業説明会について ..... 2
- 8 令和6年3月高校卒業予定者の就職状況について ..... 2

### 【観光文化スポーツ部】

- 9 市内の小正月行事等について ..... 2

### 【建設部】

- 10 雄物川河川激甚災害対策特別緊急事業（国）について ..... 2
- 11 河川等災害復旧事業（国）について ..... 2

### 【教育委員会事務局】

- 12 「大仙ふるさと博士育成」事業について ..... 3
- 13 小中学校の改修工事等について ..... 3
- 14 令和6年大仙市民書初め大会について ..... 3

### 【上下水道局】

- 15 上水道事業について ..... 4
- 16 簡易水道事業について ..... 4
- 17 下水道事業について ..... 4

### 【経済対策】

- 18 物価高騰対策 5月臨時会 ..... 4
- 19 物価高騰対策 6月定例会 ..... 5
- 20 物価高騰対策 9月定例会 ..... 6

21	物価高騰対策	12月定例会	6
22	物価高騰対策	1月先決分	8

## 【農林部】

### 1 大仙農業元気賞について

3月22日に開催を予定している大仙市農業研修会において、大曲、中仙、仙北の各地域で活躍する若手農業者3名を表彰することとしております。これまで受賞された50名と同様、地域農業をけん引する若きリーダーとして、さらなる活躍を期待しております。

### 2 市内5蔵元による地酒統一ブランドについて

市内の酒米生産者と5つの酒蔵、秋田大学の連携プロジェクトとして進めてきた、大仙市産米を使用して仕込んだ地酒統一ブランド「宵の星々」が完成し、3月2日と3日の両日、道の駅なかせんを会場に販売会を開催する予定としております。

### 3 スマート農業技術に関する研修会について

2月16日、仙北ふれあい文化センターを会場に、RTK基地局を活用したスマート農業技術に関する研修会を開催しております。当日は認定農業者をはじめ176人が参加し、スマート農業がもたらす効果や導入事例等について情報提供を行っております。

### 4 鮭資源等確保活用事業について

海水温の上昇など海洋環境の変化に起因した不漁が全国的に続いており、今期の鮭捕獲量は、平年の約3分の1となる1,661尾に留まっております。また、採卵数も131万2千粒となっておりますが、鮭資源の持続的な確保に向け、種苗卵の適期放流に努めてまいります。

## 【経済産業部】

### 5 職場定着セミナーについて

若手従業員の早期離職を防止し、労働力の維持・確保を図るとともに、若者の地元定着による地域活性化につなげるため、12月20日、グランドパレス川端を会場に職場定着セミナーを開催し、市内企業を含む10事業者の従業員23名が参加しております。

### 6 大曲・仙北地域就職面接会について

地元企業の人手不足や地域の担い手不足を解消するため、1月5日、仙北ふれあい文化センターを会場に大曲・仙北地域就職面接会を開催し、市内企業を含む29事業者と、大曲仙北地域で就職を希望する

学生を含む求職者等56人が参加しております。

## 7 仙北地域企業説明会について

地域の企業を知り、就職に対する理解を深めるとともに、早期離職の防止と若者の地元定着を図るため、2月5日、大曲交流センターを会場に仙北地域企業説明会を開催し、市内企業を含む30業者と大曲仙北管内の高校2年生301人が参加しております。

## 8 令和6年3月高校卒業予定者の就職状況について

ハローワーク大曲によると、昨年12月末時点の管内における就職希望者は218人で、うち201人が内定しており、秋田県平均93.6%を1.4ポイント下回る92.2%となっております。

### 【観光文化スポーツ部】

## 9 市内の小正月行事等について

大仙の冬を彩る小正月行事や冬まつりが、市内各地で開催されております。なお、2月3日に予定されていた「払田柵の冬まつり」については、例年になく少雪の影響で中止となっております。

- 1月14日 八坂神社ぼんでん（中仙）
- 2月 3日 太田の火まつり（太田）
- 10日 刈和野の大綱引き（西仙北）  
上村の火振りかまくら（中仙）
- 11日 川を渡るぼんでん（大曲）
- 14日 押切の火振りかまくら（中仙）
- 17日 鳥子舞・大曲の綱引き（大曲）

### 【建設部】

## 10 雄物川河川激甚災害対策特別緊急事業（国）について

令和6年1月末の進捗率は、用地調査業務100%、用地補償業務100%、築堤や堤防のかさ上げ等の工事99%で、令和5年度中に完了する予定と伺っております。

## 11 河川等災害復旧事業（国）について

令和5年7月の豪雨に伴う国管理河川の災害復旧事業につきましては、雄物川において護岸整備工事及び河道掘削工事、玉川において護岸整備工事の実施がそれぞれ予定されており、この4月に一部着工

する予定と伺っております。

### 【教育委員会事務局】

#### 12 「大仙ふるさと博士育成」事業について

地域と関わる活動を通じてふるさとを愛する心を育て、地域の将来を担う人材の育成を目指す「大仙ふるさと博士育成」事業につきましては、夏季休業中に6箇所、冬季休業中に4箇所の事業所等に協力をいただき、「企業見学DAY」「ふるさと農業体験DAY」を実施し、児童生徒延べ147人が参加しております。大仙ふるさと博士の認定を受けた児童生徒は、令和6年2月15日時点で、名誉博士252人、上級1,343人、中級4,153人、初級6,543人となっております。

#### 13 小中学校の改修工事等について

令和5年度において実施した下記の改修工事が完了しています。

##### 【小学校】

- ・職員室他空調設備改修（大曲小・協和小）
- ・体育館屋根改修（神岡小）
- ・トイレ改修（花館小・西仙北小・横堀小）
- ・昇降機改修（四ツ屋小）

##### 【中学校】

- ・気中開閉器他改修（大曲南中）
- ・校舎屋上防水改修（西仙北中）
- ・音楽室空調設備設置（大曲中）
- ・トイレ改修（西仙北中）

また、下記の工事が2月29日の完了に向け順調に進捗しております。

##### 【小学校】

- ・高圧受電設備改修（花館小・神岡小）

##### 【中学校】

- ・高圧受電設備改修（大曲中）

#### 14 令和6年大仙市民書初め大会について

1月5日、大曲体育館を会場に令和6年大仙市民書初め大会を開催し、児童生徒を含む74人が参加しております。当日は、書初めのほか、初心者を対象とした書道体験などが行われております。作品は

1月13日から21日までの間、大曲交流センターに展示され、多くの皆様に鑑賞していただいております。

## 【上下水道局】

### 15 上水道事業について

老朽化した配水管の改良工事につきましては、12月15日に大曲あけぼの町地内、1月19日に大曲丸子町地内の工事を終えております。

### 16 簡易水道事業について

大曲地域内小友中山地区の水道未普及地域解消事業につきましては、3月末の事業完了を目指し、南外字大畑潜沢地内において配水ポンプ場の整備工事を進めておりますが、全国的な電線類の供給不足の影響で関連資材の納期が遅延しており、令和6年度への繰越を予定しております。

また、西仙北地域刈和野地区の配水管更新・改良事業につきましては、12月11日に配水管仕切弁設置工事を終えております。

### 17 下水道事業について

大曲地域の佐野町・朝日町地内における管渠改築工事につきましては、1月19日に工事を終えております。

また、西仙北地域の川里地区農業集落排水施設機能強化事業につきましては、12月1日にマンホール蓋更新工事、12月13日に機械設備改修工事をそれぞれ終えており、マンホールポンプ設備改修工事は、3月上旬の完成に向け順調に進捗しております。

## 【経済対策】

### 18 物価高騰対策 5月臨時会

#### (1) 住民税非課税世帯への支援事業

令和5年度の住民税非課税世帯等に対し、1世帯あたり3万円を給付するもので、11月17日までに9,536世帯への支給を完了しております。

#### (2) 住民税均等割のみ課税世帯への支援事業

令和5年度の住民税均等割のみの課税世帯に対し、1世帯あたり3万円を給付するもので、11月17日までに1,988世帯への

支給を完了しております。

**(3) 子育て世帯生活支援特別給付金支給事業**

児童扶養手当受給世帯、または令和4年度の住民税非課税世帯等に対し、児童1人あたり5万円を給付するもので、1月末現在で児童1,432人分の給付金を支給しております。

**(4) 配合飼料高騰対策支援事業**

令和5年1月1日現在、市内に住所または事業所を有し、令和5年度末まで営農継続の意思があること等の要件を満たす畜産経営体に対し、令和5年1月から3月までに納品された配合飼料の数量や、肉用牛等の飼養頭数に応じて給付金を支給するもので、6月末までに申請を受け付け、13,670千円を支給しております。

**(5) 就学援助費受給世帯への支援事業**

物価高騰の影響により、日常生活の経済的負担が増加している就学援助受給世帯（「子育て世帯生活支援特別給付金」の受給世帯を除く。）に対し、児童生徒1人あたり3万円または5万円を給付するもので、10月16日までに20世帯へ1,280千円を支給しております。

**19 物価高騰対策 6月定例会**

**(1) ゼロカーボンシティ推進事業**

一般家庭の自家消費を目的とした太陽光発電設備や蓄電池の導入、並びに電気自動車（EV）及びプラグインハイブリッド自動車（PHEV）の購入と充電設備の設置に対し助成するもので、2月19日時点で59件の申請を受け付け、10,698千円を支給しております。

**(2) 社会福祉施設等物価高騰対策支援事業**

物価高騰に伴う社会福祉施設等の光熱費の負担軽減を図るため、施設運営費の一部を助成するもので、9月29日に受付を終え、申請のあった介護保険事業所103事業所、及び障がい福祉サービス事業所33事業所に対し、総額36,548千円の支給を完了しております。

### (3) 保育所等物価高騰対策事業

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受ける幼児教育・保育施設に対し、光熱水費等の一部を助成するもので、8月25日に、対象となる27施設に対して11,108千円の支給を完了しております。

### (4) 電気料金高騰経営支援事業

一定の要件を満たす高压電気を受電する市内事業者に対し、1事業者あたり50万円を上限に給付するもので、7月3日から8月31日までの申請期間において、61事業者からの申請を受け付け、16,944千円を支給しております。

## 20 物価高騰対策 9月定例会

### (1) 高压電気契約事業者支援事業

一定の要件を満たす高压電気を受電する市内事業者に対し、1事業者あたり100万円を上限に給付するもので、10月2日から11月17日までの申請期間において、25事業者からの申請を受け付け、6,838千円を支給しております。

### (2) 特産品発送支援事業

本市特産品の販売を促進することで消費を喚起し、販路拡大につなげることを目的に、3千円以上の特産品を購入した場合に送料の助成を行うもので、1月31日時点で、40事業所に対し、20,301件分となる13,112千円を給付しております。

## 21 物価高騰対策 12月定例会

### (1) 住民税非課税世帯への支援事業

令和5年度の住民税非課税世帯等に対し、1世帯あたり7万円を追加給付するもので、2月21日時点で7,512世帯へ支給しております。

### (2) 原油価格高騰対策生活支援事業

令和5年度の住民税非課税世帯のうち、一定の要件を満たす世帯に対し、1世帯あたり8千円を給付するもので、2月21日時点で2,413世帯へ支給しております。

### **(3) 社会福祉施設等物価高騰対策支援事業**

物価高騰に伴う社会福祉施設等の食材料費及び光熱費の負担軽減を図るため、施設運営費の一部を助成するもので、2月15日までに申請を受け付け、2月21日時点で、審査の終了した介護保険事業所85事業所、及び障がい福祉サービス事業所16事業所に対し、17,541千円の支給を完了しております。

### **(4) だいせん子ども応援給付金**

物価高騰に伴う食費等の負担軽減を図るため、18歳以下の児童を養育する世帯に対し、児童1人につき2万円を給付するもので、2月14日時点で、4,191世帯に145,820千円の支給を行っております。

### **(5) 保育所等物価高騰対策事業**

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受ける幼児教育・保育施設に対し、給食費の一部を助成するもので、2月5日に、対象となる25施設に対して5,733千円の支給を完了しております。

### **(6) 園芸農家原油高騰対策支援事業**

令和5年11月から本年3月までの期間内に、ビニールハウス等農業生産施設において園芸作物を生産出荷した等の要件を満たす市内の農業者に対し、施設園芸作物の生産に使用した燃油の量に応じて給付金を支給するもので、申請に基づき、順次、支給してまいります。

### **(7) 農業資材高騰対策支援事業**

令和5年度に農産物の販売実績があり、令和6年度も営農を計画している等の要件を満たす市内の農業者に対し、作目ごとの面積に応じて給付金を支給するもので、1月31日時点で2,199件の申請を受け付け、これまでに99,975千円の支給を完了しております。

### **(8) コンベンション施設運営支援事業**

大規模なイベント開催用複合施設を運営する事業所に対し、会議場の面積に応じて支援を行うもので、12月28日に受付を終了し、5件の申請を受け付け、44,785千円を給付しております。

## 22 物価高騰対策 1月専決分

### (1) 住民税均等割のみ課税世帯への支援事業

令和5年度の住民税均等割のみ課税世帯等に対し、1世帯あたり7万円を追加給付するもので、2月21日時点で、1,801世帯へ支給しております。

### (2) 低所得子育て世帯への支援事業

令和5年度の住民税非課税世帯、及び均等割のみ課税世帯等のうち、18歳以下の児童がいる世帯に対し、児童1人あたり5万円を給付するもので、支給要件の確認が完了し次第、順次支給を進めており、2月28日に1回目となる298世帯への支給を予定しております。